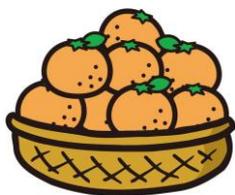


大野っ子だより

～ あいさつ・元気・チームワーク・感謝～

海南市立大野小学校

第8号 令和2年11月25日



暦の上では「小雪」が過ぎ、柑橘類が熟す季節になりました。例年であれば、食欲の秋を満喫されている方も多いところですが、心配されているコロナウィルスの感染は、気温の低下とともに徐々に広がっている状況で、依然として制限された中で生活が続いています。そのため、学校では、マスクの着用、手洗い・手指消毒、3密の回避を再度徹底しながら教育活動を進めているところです。

★交通安全について

この度、令和2年度県交通安全優良学校に選ばれ、先日表彰状が届きました。これまで本校が取り組んできたことが評価され、大変うれしく思います。本校の交通安全の取組は、他校と比べて特別すごいことをしているわけではありませんが、警察署をはじめ保護者や見守りの方々、地域の皆さんの協力を得ながら地道に何年も継続してきました。その結果、子どもたちは長年大きな交通事故等に遭遇していません。そういった長年の取組と成果が認められて、今回表彰されたのだと思います。今後も子どもたちが交通事故で怪我等をすることのないよう、気持ちをさらに引き締めて取り組んでいきます。

まずは、今年度学校近辺での登校の様子を見ていて、気になっていたことが3点あります。

- ①横断歩道のないところで道路を横断しなければならない場合
- ②狭い道から車の通る広い道に出る場合
- ③雨の日に高架下の直線道路を歩く場合

①の場合、子どもたちは思い思いのポイントで横断するようになってきていたので、以前決めていたポイントで横断することを徹底しています。

②の場合、高学年の子どもは意識して歩けていますが、低学年の子どもは飛び出るような姿をときどき見ますので、一旦停止してゆっくり出るよう指導しています。

③の場合、車の通行量が増えることもあり、傘をさして並んで歩くと車と接触する危険が増すため、一列でフェンス沿いを歩くよう声をかけています。

特に、先日①②のポイントに右記のシールを貼り、「パンダのところで止まってから渡る、出る」ように指導し始めました。ご家庭でも声かけをお願いします。また、通学路でパンダシールを貼ったらいいと思われるところがありましたら、お知らせください。



★避難訓練（世界津波の日）について

過日11月5日は、「世界津波の日」でしたので、本校では、地震避難訓練を実施しました。昨年度もお伝えしましたが、この日が「世界津波の日」とされたのは、1854年11月5日、安政南海地震による津波が和歌山県広川町を襲った際、濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ導いて、多くの命を救った逸話「稲むらの火」の故事にちなんだものです。和歌山県人の私たちは、「世界津波の日」制定の由来となった濱口梧陵の精神を学び、次世代に過去の災害の教訓を伝えることで、地震・津波防災意識の向上につなげていくようにしたいものです。

今回の避難訓練でも、子どもたちは、避難時の合言葉「お・は・し・も」を意識して、押さない、走らない。しゃべらない、もどらないの4事項を守って上手に避難できました。各ご家庭におきましては、大地震の際、家族がいっしょにいなくても、各自が迷うことなく予め決めておいた避難場所に避難するように、約束しておいてください。災害では、「自分の命は自分で守る」という意識が大切です。